

旅行代理店へようこそ
(おすすめの国を提案しよう)

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] 店員とお客・役をこうたい 20分
ねらい	How about ~? / You can see [eat] ~. / It's ~. で、相手が行きたくなる国を提案する——单元ゴールの本番。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Make your card. Choose one country.
おすすめカードを書く (国1つ・見どころ2つ・ひとこと感想)
- 2 Half: travel agents. Half: customers.
半分为旅行代理店の店員、半分为お客さん。お客さんがお店を回る
- 3 Customer: Hello. I want to travel. Which country is good?
お客「旅行に行きたいんです。どの国がいいですか？」
- 4 Agent: How about Italy? You can see the Colosseum. It's exciting!
店員「イタリアはどうですか？ コロッセオが見られますよ。わくわくしますよ！」
- 5 Customer: Why? ... Sounds good! I want to go to Italy!
お客は Why? と理由を聞く。3店回って行き先を決めたら、役をこうたい

おすすめカード 店員の準備 (お客さんが行きたくなる見どころをえらぼう)

おすすめの国	How about ~? _____
見どころ①	You can see [eat] ~. _____
見どころ②	You can see [eat] ~. _____
ひとこと	It's ~. (exciting / beautiful / fun / delicious / interesting) _____

国名バンク : Italy France Germany Switzerland China India Egypt Kenya
the U.S.A. Canada Brazil Australia

お客さんのメモ 3つのお店を回って、行き先を決めよう

お店の人	すすめられた国	できること (絵や日本語でOK)	行きたい?
------	---------	------------------	-------

			◎ ・ ○
			◎ ・ ○
			◎ ・ ○

お客さんのことば：Hello. I want to travel. (旅行に行きたいんです) / Which country is good? (どの国がいいですか) / Why? (どうして?) / Sounds good! (いいですね!) / I want to go to ~! (~に行きたい!)

お店の人のことば：How about ~? (~はどうですか) / You can see [eat] ~. (~が見られ [食べられ] ますよ) / It's ~. (~ですよ) / Thank you. Have a nice trip! (いい旅を!)

ルール

- ①お客さんの顔を見て提案する(カードを読み上げるだけにしない) ②同じお店に2回行かない ③決まらなくてもOK。Thank you! と言って次のお店へ ④お客さんは必ず Why? を1回は聞く

☆レベルアップ! 見どころを言ったあとに Do you like animals? のような質問を1つ足せると、お客さんに合わせた提案になる。3人のお客さん全員に「行きたい!」と言わせたら、その日のNo.1旅行代理店。

先生へ(運用のコツ・中間指導)

- ・5分たったら中間指導：「お客さんの顔を見て You can ... と言えた人?」→ カードを机に置いて1回言う練習を全体で30秒→2周目へ
- ・◎第6時の見取り(思判表)はここ。文の数ではなく「相手の反応を見て見どころを言いたせたか」を見る
- ・店員が黙ってしまう班には、先生がお客役で入って Which country is good? と1回だけ火をつける。言い方は毎回まったく同じにするのがコツ(子どもが型を覚える)

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目で言えなかったことを、同じ20分のうちに「言えた」に変える——時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝ロールプレイ①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	ロールプレイ1回目（店員と客）	客は2～3店を回る。先生は「Why? のあとで止まった店員」を見つけておく
7-9	あつめる：言いたかったのに言えなかったこと	「日本語でOK」と先に宣言する。店員側と客側の両方から集める（3～4個で十分）
9-12	英語にする：下の補給表から黒板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す（先生がその場で英語を作らなくてよい）
12-13	自分の台詞にもどす	さっき言えなかった子が、となりに向かって1回言えたら準備完了
13-20	ロールプレイ2回目（店員と客を交代）	「補給したことばを1つ使えたら店長級」。2回目は必ず長くなる

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黒板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
まよってます……	Hmm... One moment, please.	5年レストランで会った「ちょっと待って」
ほかの国はある？	Anything else?	客の質問はこの1語でつながる
（Why? と聞かれたら）	You can eat pizza!	You can の文をもう一度＝それが理由（because は使わない）
行きたくなった！	OK! I want to go to Italy!	気持ちが動いたら、そのまま単元の文で
いいね、楽しそう！	Nice! / Great!	客のあいづちは店員の燃料
ピザが食べられるの？	You can eat pizza?	店員の文を語尾上げてくり返せば質問になる
もう一回・ゆっくり	One more time, please.	聞き返しは道具——Slowly, please. とセットで
お店を出るとき	Thank you! Bye!	終わり方まで言えて1軒分が完成

表にないことばが出たら
「世界遺産」「オーロラ」のようなことばは、無理に英語にしない。国のことば・地名はそのままでもいい——Machu Picchu で通じる。「くわしくは中学校の英語でね」と返せば、それが予告編になる。

先生へ（この20分の勘どころ）

- ・この20分は主活動そのもの——時間は足さない。2枚目の「5分たったら中間指導」はこの台本の7～12分に統合——進行はこの1枚が正
- ・第7時のロールプレイ②も同じ進行で回せる
- ・客の Why? が出るかがこの単元の分かれ目——補給のあと「Why? と聞かれたら店員はうれしい」と言っておくと、2回目に質問が増える
- ・国の知識の正しさは問わない（2枚目の配慮の通り）。「英語で提案できた」を喜ぶ